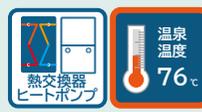


# B&B パンション箱根

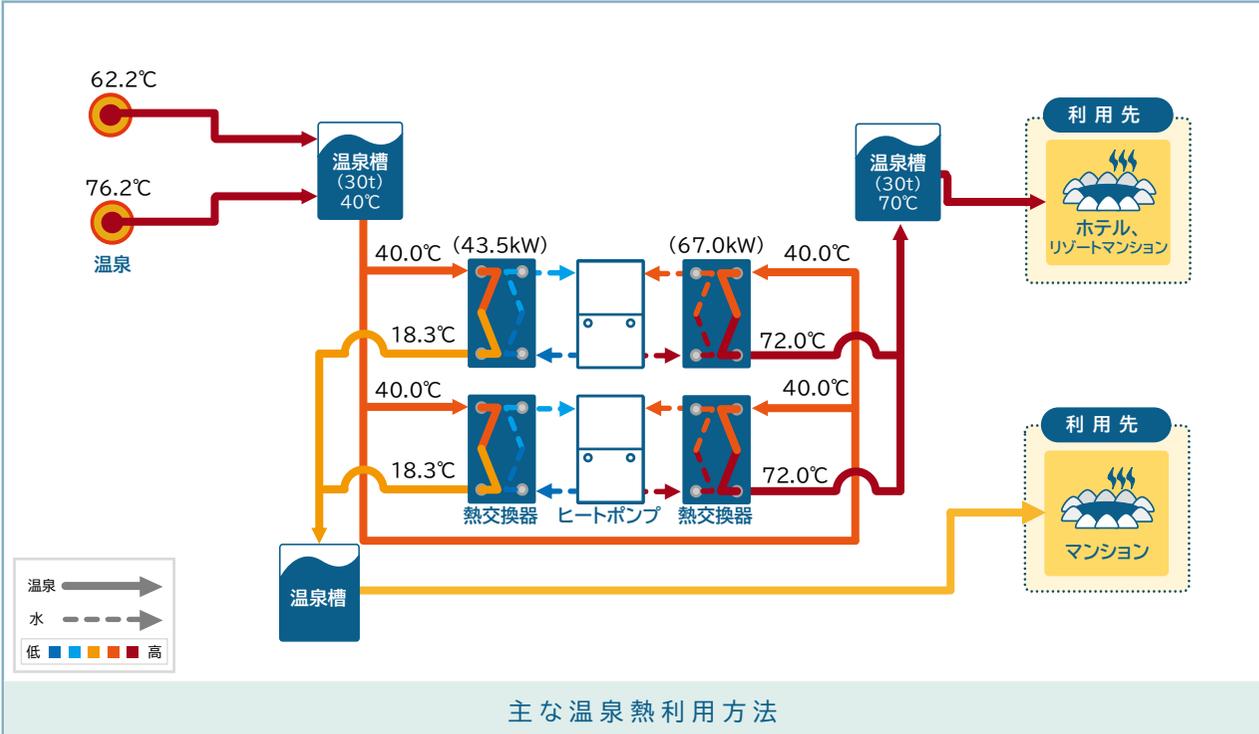


## 概要

温泉の一部をヒートポンプの熱源として高温の温水を作り、温泉と熱交換させ、温泉の昇温に利用することで、もともとボイラー熱源での昇温に消費していた燃料の削減を図った。昇温した温泉や熱交換に利用した温泉は、周辺ホテルやマンションに配湯している。  
 (※B&Bパンション箱根は2018年3月31日をもって営業終了し、社員寮に用途変更しているが、温泉熱供給先および温泉熱利用システムは現状も使用している)



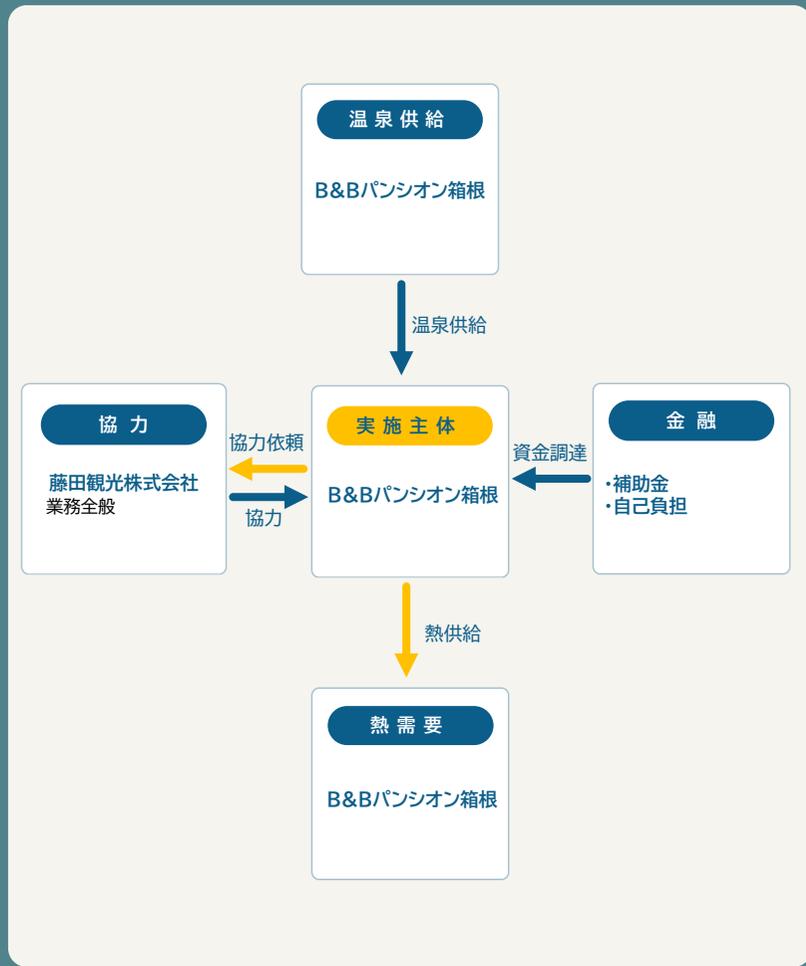
泉質	単純温泉、塩化物泉	CO <sub>2</sub> 排出量削減効果	エネルギーコスト削減効果
熱利用温度	40℃	201 t-CO <sub>2</sub> /年相当削減 ※1	39%削減 ※1
利用温泉	既存温泉		
総事業費	3,800万円 (一部補助金あり)		



主な温泉熱利用方法

※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。  
 ※ 1: CO<sub>2</sub>排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、ヒアリング先による推定値(重油使用量削減による効果)です。

## 実施体制



## 事業検討の流れ

